

平成29年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社ソラスト 上場取引所 東

コード番号 6197 URL http://www.solasto.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石川 泰彦

問合せ先責任者 (役職名) 経常(基本部長 (氏名) 春山 昭彦 TEL 03 (6890) 8904

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無:有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高 営業利益		経常利益		親会社株主に 四半期純			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	16, 043	2. 9	827	25. 8	785	18. 4	504	40. 1
28年3月期第1四半期	15, 596	_	658	_	663	_	359	_

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 509百万円 (40.2%) 28年3月期第1四半期 363百万円 (-%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	17. 83	16. 19
28年3月期第1四半期	12. 73	_

- (注) 1. 当社は、平成27年3月期第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年3月期第1四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 - 2. 当社は、平成28年1月26日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。
 - 3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、平成28年3月期第1四半期は、潜在株式は存在しておりますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。また、平成29年3月期第1四半期は、当社株式が平成28年6月29日に東京証券取引所市場第一部に上場したため、新規上場日から平成29年3月期第1四半期連結累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

(2) 建铜网络八心			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	22, 123	8, 485	38. 4
28年3月期	22, 541	8, 475	37. 6

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 8,485百万円 28年3月期 8,475百万円

2. 配当の状況

- Ho - 7 / 1/20							
		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	円 銭		
28年3月期	_	5, 306. 00	_	17. 70	_		
29年3月期	_						
29年3月期(予想)		I	ı	ı	41.00		

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無
 - 2. 平成28年3月期第2四半期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。詳細は、後述の「資本剰余金を 配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。
 - 3. 当社は、平成28年1月26日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。平成28年3月期の第3四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
 - 4. 平成29年3月期の第2四半期末及び期末の配当金は未定です。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株3		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32, 378	3. 3	1, 593	0. 9	1, 509	△4.6	989	2. 7	34. 98
通期	66, 391	5. 3	3, 600	8. 7	3, 508	6. 0	2, 313	16.0	81. 82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有
 - (注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成 に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1) 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

4) 修正再表示 :無

(注) 詳細は、添付資料 P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の 見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 29年3月期1Q 28, 270, 200株 28年3月期 28, 270, 200株 ② 期末自己株式数 29年3月期1Q 28年3月期

③ 期中平均株式数 (四半期累計) 29年3月期1Q 28, 270, 200株

28年3月期1Q 28, 270, 200株 (注) 当社は、平成28年1月26日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の 期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の 開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判 断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績 等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっ ての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの 将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2) 四半期決算補足説明資料及び本日開催の決算説明会(電話会議)における資料については、平成28年8月5日 (金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

(当社ウェブサイトURL)

http://www.solasto.co.jp/ir/jp

(ご参考)資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳 平成28年3月期第2四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりであります。

基準日	第2四半期末
1株当たり配当金	5,306円00銭
配当金総額	500百万円

(注)純資産減少割合 0.061

○添付資料の目次

1	. 当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2	. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3	. 四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	5
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	6
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
	(継続企業の前提に関する注記)	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
	(セグメント情報等)	7
	(重要な後発事象)	. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月~6月)における当社グループの業績は、前年同期比で増収増益となりました。売上高は、介護・保育事業及び医療関連受託事業がともに好調に推移したため増加しました。営業利益は、介護・保育事業の大幅な増益とその他部門の損失縮小により増加しました。なお、営業利益率は、介護・保育事業のセグメント利益率が大幅に上昇したことにより向上しました。

当第1四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

(単位:百万円)

	平成28年3月期 第1四半期連結累計期間 (平成27年4月~6月)	平成29年3月期 第1四半期連結累計期間 (平成28年4月~6月)	増減	増減率	(参考) 前連結会計年度 (平成27年4月 ~平成28年3月)
売上高	15, 596	16, 043	+447	+2.9%	63, 070
営業利益	658	827	+169	+25.8%	3, 311
(同率)	(4.2%)	(5. 2%)			(5.3%)
経常利益	663	785	+122	+18.4%	3, 308
(同率)	(4.3%)	(4.9%)			(5.2%)
親会社株主に帰属する					
四半期(当期)純利益	359	504	+144	+40.1%	1, 993
(同率)	(2.3%)	(3.1%)			(3.2%)

<事業セグメント別の状況>

[医療関連受託事業]

医療関連受託事業の売上高は、12,536百万円(前年同期比1.6%増)となりました。医療機関からの新規契約の受注、既存顧客との取引拡大、昨年9月に実施された労働者派遣法の改正に伴う派遣売上の増加等が寄与しました。

セグメント利益は、1,100百万円(前年同期比3.2%減)となりました。適正人員配置の推進による生産性向上や 増収に伴う売上総利益の増加がプラスに寄与しました。しかしながら、新規契約の獲得に伴う業務の立ち上げ費用 や社員給与の見直し、社会保険料の上昇等、社員待遇の改善に伴う費用が増加しました。

セグメント利益率は、8.8% (前年同期比0.4ポイント減)となりました。新規獲得業務の立ち上げや社員待遇改善費用等により前年同期比では一時的に低下しましたが、高水準の利益率を維持しました。

[介護・保育事業]

介護・保育事業の売上高は、3,293百万円(前年同期比7.2%増)となりました。介護に関しましては、グループホーム(認知症対応型共同生活介護)や有料老人ホーム等の施設系サービス、訪問介護等の在宅系サービスの両方で利用者数が増加しました。また、M&Aによる事業所数の増加も売上増に寄与しました。保育につきましては、園児数の増加や自治体からの補助金収入により増収となりました。

セグメント利益は、238百万円(前年同期比352.0%増)となり、大幅に増加しました。介護事業の増収や生産性向上に伴う売上総利益の増加が寄与しました。

セグメント利益率は、7.3% (前年同期比5.5ポイント増)となり、大幅に上昇しました。介護事業の増収や生産性向上に伴い、売上総利益率が上昇し販売費及び一般管理費率が低下したことが寄与しました。

なお、当第1四半期連結会計期間末における事業所数及び施設数は、介護事業221事業所(前連結会計年度末比+2)、保育事業13施設(同±0)となりました。

[その他]

その他の売上高は、213百万円(前年同期比12.6%増)となりました。診療報酬改定に伴いキャリアセンターの図書売上が増加したこと等が寄与しました。

セグメント損失は、39百万円(前年同期は76百万円の損失)となりました。販売費及び一般管理費の削減、増収に伴う売上総利益の増加等が寄与しました。

(単位:百万円)

						(十四:07)
		平成28年3月期 第1四半期連結累計期間 (平成27年4月~6月)	平成29年3月期 第1四半期連結累計期間 (平成28年4月~6月)	増減	増減率	(参考) 前連結会計年度 (平成27年4月 ~平成28年3月)
医療関連	売上高	12, 333	12, 536	+202	+1.6%	49, 492
受託事業	セグメント損益 (同率)	1, 135 (9. 2%)	1, 100 (8.8%)	△35	△3.2%	4, 766 (9. 6%)
介護・	売上高	3, 072	3, 293	+220	+7.2%	12, 825
保育事業	セグメント損益 (同率)	52 (1. 7%)	238 (7. 3%)	+186	+352.0%	665 (5. 2%)
その他	売上高	190	213	+23	+12.6%	752
	セグメント損益 (同率)	△76 (−)	△39 (−)	+37	_	△295 (−)
調整額	セグメント損益	△453	△471	△18	_	△1,825
合計	売上高	15, 596	16, 043	+447	+2.9%	63, 070
	営業利益 (同率)	658 (4. 2%)	827 (5. 2%)	+169	+25.8%	3, 311 (5. 3%)

⁽注)上記<事業セグメント別の状況>に記載している売上高は、「外部顧客への売上高」を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ主に現金及び預金の減少等により、417百万円減少して22,123百万円となりました。

また、負債の部は、前連結会計年度末に比べ主に長期借入金の減少等により、426百万円減少して13,638百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加して8,485百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の37.6%から38.4%と0.8ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年6月29日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適 用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5, 831, 909	5, 597, 925
受取手形及び売掛金	7, 146, 205	7, 229, 671
貯蔵品	107, 796	104, 587
その他	1, 255, 917	1, 016, 309
貸倒引当金	$\triangle 2,501$	△2, 848
流動資産合計	14, 339, 328	13, 945, 644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2, 716, 479	2, 670, 977
土地	929, 346	929, 346
その他(純額)	759, 357	742, 766
有形固定資産合計	4, 405, 183	4, 343, 090
無形固定資産	1, 100, 100	1, 010, 00
のれん	2, 085, 047	2, 111, 273
その他	259, 025	250, 358
無形固定資産合計	2, 344, 073	2, 361, 633
	2, 344, 073	2, 301, 03.
投資その他の資産	1 477 040	1 407 406
投資その他の資産	1, 477, 042	1, 497, 432
貸倒引当金	△24, 390	△24, 290
投資その他の資産合計	1, 452, 651	1, 473, 14
固定資産合計	8, 201, 908	8, 177, 863
資産合計	22, 541, 237	22, 123, 508
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	1, 250, 000	1, 250, 000
未払金	4, 320, 019	4, 688, 459
未払法人税等	751, 960	389, 053
賞与引当金	1, 309, 453	629, 823
役員賞与引当金	19, 750	5, 875
その他	1, 134, 676	1, 690, 404
流動負債合計	8, 785, 860	8, 653, 616
固定負債		
長期借入金	3, 375, 000	3, 075, 000
退職給付に係る負債	1, 095, 544	1, 104, 836
資産除去債務	137, 094	137, 743
その他	671, 862	667, 206
固定負債合計	5, 279, 501	4, 984, 786
負債合計	14, 065, 361	13, 638, 402
純資産の部		, ,
株主資本		
資本金	300,000	300, 000
資本剰余金	5, 203, 360	5, 203, 360
利益剰余金	3, 084, 928	3, 088, 668
株主資本合計	8, 588, 288	8, 592, 028
その他の包括利益累計額	0,000,200	0, 002, 02
退職給付に係る調整累計額	$\triangle 112,412$	△106, 922
その他の包括利益累計額合計	△112, 412	△106, 922
純資産合計	8, 475, 875	8, 485, 105
負債純資産合計	22, 541, 237	22, 123, 508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	15, 596, 605	16, 043, 864
売上原価	13, 108, 625	13, 391, 361
売上総利益	2, 487, 980	2, 652, 502
販売費及び一般管理費	1, 829, 907	1, 824, 939
営業利益	658, 073	827, 562
営業外収益		
受取利息	1, 186	0
受取配当金	809	2, 405
補助金収入	5, 510	8, 695
その他	15, 970	4, 776
営業外収益合計	23, 477	15, 876
営業外費用		
支払利息	15, 728	12, 410
株式公開費用	1,666	44, 153
その他	478	899
営業外費用合計	17,874	57, 463
経常利益	663, 676	785, 975
特別損失		
固定資産除却損	39	3, 168
固定資産売却損	290	_
災害による損失	<u> </u>	2, 478
特別損失合計	329	5, 646
税金等調整前四半期純利益	663, 346	780, 329
法人税等	303, 444	276, 206
四半期純利益	359, 901	504, 122
親会社株主に帰属する四半期純利益	359, 901	504, 122

(四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	359, 901	504, 122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△523	_
退職給付に係る調整額	4, 051	5, 490
その他の包括利益合計	3, 527	5, 490
四半期包括利益	363, 429	509, 612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363, 429	509, 612
非支配株主に係る四半期包括利益	_	_

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他		調整額	四半期連結 損益計算書
	医療関連 受託事業	介護・保育 事 業	計	(注) 1	合計	(注) 2	計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	12, 333, 903	3, 072, 603	15, 406, 507	190, 097	15, 596, 605	_	15, 596, 605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	_	-	_	-	_
## # # # # # # # # # # # # # # # # # #	12, 333, 903	3, 072, 603	15, 406, 507	190, 097	15, 596, 605	_	15, 596, 605
セグメント利益又は損失 (△)	1, 135, 864	52, 877	1, 188, 741	△76, 818	1, 111, 923	△453, 850	658, 073

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない人材確保及び育成業務、不動産賃貸業務、損害保険代理 店業務等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益又は損失 (\triangle) の調整額 \triangle 453,850千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他		調整額	四半期連結 損益計算書
	医療関連 受託事業	介護・保育 事 業	計	(注) 1	合計	(注) 2	計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	12, 536, 745	3, 293, 149	15, 829, 895	213, 968	16, 043, 864	_	16, 043, 864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	_	_	_	_	_
======================================	12, 536, 745	3, 293, 149	15, 829, 895	213, 968	16, 043, 864	_	16, 043, 864
セグメント利益又は損失 (△)	1, 100, 052	238, 999	1, 339, 051	△39, 614	1, 299, 437	△471,874	827, 562

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない人材確保及び育成業務、不動産賃貸業務、損害保険代理 店業務等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益又は損失 (\triangle) の調整額 \triangle 471,874千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。